

平成 2 5 年度

真岡市水道事業上半期業務状況説明書

(平成 2 5 年 4 月 1 日～9 月 3 0 日)

平成25年度真岡市水道事業上半期業務状況説明書 (平成25年4月1日～9月30日)

真岡市水道事業は、すべての市民に清浄でおいしく、豊富で安全な水道水を供給するため、配水管（水道水を浄配水場から各戸に送るための管）の拡張・改良、水道施設の更新・修繕等を行うとともに、一部業務の民間委託等により経費の節減に取り組み、経営の健全化に努めています。

当期末における給水世帯は23,898世帯、給水人口は67,352人で、前年同期と比較して、給水世帯で289世帯、給水人口で105人増加しており、普及率は82.6%となっています。各数値が増加した要因は、宅地分譲によるものと考えられます。

次に、配水量（配水管に送られた水量）と有収水量（配水量のうち水道料金として回収された水量）を前年同期と比較すると、配水量が0.3%増加し、有収水量は、ほぼ同量となっています。また、営業用の有収水量が減少した影響から、有収率（配水量に対する有収水量の割合）は0.4%減少しています。

経理状況につきましては、収益的収支では、収入は予算額に対して42.5%、支出は同42.3%の執行率となっています。なお、収入の大半を占める給水収益（調定額）は、前年同期と比較して0.4%（約300万円）減少しています。

資本的収支では、収入は予算額に対して50.1%、支出は同45.8%の執行率となっています。

なお、資本的支出における当期の配水設備拡張工事請負費は、予算額153,248千円に対して、契約済額は47,497千円（執行率31.0%）で、県道真岡岩瀬線、亀山北土地地区画整理事業地内配水管布設工事のほか市内配水管布設工事等を実施しており、これにより、配水管は2,024m延長されることとなります。また、配水設備改良工事請負費は、予算額100,550千円に対して、契約済額は14,730千円（執行率14.6%）で、石法寺浄水場取水ポンプほか更新工事を行っており、下半期についても、施設の変電盤などの更新工事を予定しております。